

長期経過の後に幼稚園生活を送れるようになった小児アトピーの経過 (6歳女兒)

症例 ID：001-06-HN | 記録日：2016年1月8日

1. 診断・治療前経過

生後1か月頃から顔に湿疹が出ました。病院で出された薬を塗り、見かけが治れば安心し、また出れば薬を塗ることを約7か月繰り返していました。複数の病院を受診しましたが、処方される薬はいずれもステロイドでした。

その間に症状は広がり、ステロイドを使わない治療を探していました。遠方であることなどから松本医院受診を迷い、いったん民間療法を試しましたが、顔の腫れ、強い赤み、リンパ液、全身の湿疹と皮むけが強く、夜も眠れない状態になりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	生後1か月頃から約7か月、病院で処方されたステロイド外用薬を使用していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	生後1か月頃から約7か月。
中止時期	松本医院受診前にステロイドを使わない方針へ移行しました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後1か月頃	来院前	顔に湿疹が出て、病院で処方された外用薬を使用しました。
生後1～8か月頃	来院前	見かけが治れば安心し、また出れば薬を塗ることを約7か月繰り返しました。症状は徐々に広がりました。
松本医院受診前	来院前ピーク	顔が腫れ、普通の肌が見えないほど赤くなり、リンパ液が多く出ました。体は湿疹と皮だらけで、夜も眠れず、人前に出しにくい状態でした。
治療開始後	治療開始後	遠距離での治療を始め、症状の波を経ながら長期的に経過をみました。
5年後頃	経過後	元気に幼稚園へ通い、翌年には小学校入学を控える状態になりました。

4. ピーク時期

ピークは、顔が腫れて普通の肌が見えないほど赤くなり、リンパ液が多く出て、全身に湿疹と皮むけがみられた時期です。かゆみで泣き、夜眠れず、人前に出しにくい状態でした。

5. 困りごと

- ・強い顔の腫れ、赤み、リンパ液、全身の湿疹により、母親が付きっきりで対応する必要がありました。
- ・夜眠れず、乳児本人にも家族にも大きな負担がありました。
- ・遠方であることや周囲に理解してもらいにくいことから、受診を決断するまでに迷いがありました。

6. 経過のまとめ

生後1か月頃から薬を塗る生活が続き、その後、顔の腫れや全身の湿疹、リンパ液、夜眠れない状態を経験しました。長期にわたる経過の中で症状には波がありました。

5年ほどの治療経過を経て、元気に幼稚園へ通う生活を送れるようになり、翌年には小学校入学を控える状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。